

ぱいふ

謹賀新年



京北商工会 会長 矢谷仁史

人と人が手をつなぎ
輪になり、つながり、未来の京北の輪へ
(わ) (わ)

青年部だより

青年部長ご挨拶



新年明けましておめでとうございます。京北地域のみなさまのおかげで、京北商工会青年部一同、今年も無事に新しい年を迎えることが出来ました。

今年度より部長という大役を仰せつかったはや8か月。青年部活動やイベントに取り組む上で、いかに部員が経営者として成長していけるかを考え、それぞれに意味を持たせた活動を行っております。

常日頃の京北内外での仕事や、京都府下の青年部活動に参加する中で、この京北商工会青年部のメンバーは仕事の質が高く、腹の底から信頼できる仲間だという事に改めて気付かされました。

今年もこの信頼のおける仲間がより魅力的な大人になるため、「知ることを楽しみ成長する活動」を行うと共に、この京北地域を魅力的な青年部員を中心に、『楽しく生きられる地域』にしていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

京北商工会 青年部部长 東 昇平



会に加え、先着12人限定早食い大会や小学生ダンス、水鉄砲的当てゲームも行い、盛り上がったイベントになりました。

カブトムシドーム2017

今回で12年目になる恒例のカブトムシドーム。猛暑の中、地域の方だけでなく、遠方からも沢山の方々に来ていただきました。

昨年は前回に引き続き、一年間を通してカブトムシを成虫から卵、幼虫、さなぎ、成虫へと育てた子どもたちへの表彰状贈呈や小学生出展ブース、大抽選



京北ふるさとまつり

昨年のふるさと祭りは、一昨年に引き続き石窯ピザを出店しました。今回も窯班は人見石工さんを中心に、以前より大きく運びやすく装飾も施した新しいピザ窯を作成しました。ピザ班はレストラン京北さんを中心に、様々な食材で試行錯誤しながら新しく3種類のピザを販売しました。

祭り当日は、売り上げ目標としていた150枚を超え、160枚(960ピース)を売ることが出来、地域の方々にとっても喜んでもらえました。



北桑田高校アントレプレナーシップ事業(授業)

平成29年度より商工会青年部では、北桑田高校生に仕事への想いを伝え「仕事とは何なのか」をお互い学んでいくための事業を行いました。

1回目は「目標」、2回目は「行動」、3回目は「結果」をそれぞれに当てはめて考え、意見を出し合いました。授業を試みると生徒は真剣で色々な考えと、新たな考えが生まれ青年部もとても刺激になりました。

実のところ、青年部の方が勉強になっているかもしれません^^、今後も『京北』『学校』『青年部』の3つがより良くなるために日々学んでいきたいと思っております。



<青年部 年間の主な行事>

- 6月 … ◆全国統一事業「絆」感謝運動(清掃奉仕事業)
◆青年部主張発表中部ブロック大会
- 7月 … ◆カブトムシドーム2017
- 10月 … ◆青年部中部ブロック交流研修会
- 11月 … ◆京北ふるさとまつり出店
◆青年部全国大会in沖縄
- 通年 … ◆青年部経営成長部会
◆北桑田高校アントレプレナーシップ事業(授業)



女性部だより

女性部長ご挨拶



新年あけましておめでとうございます。
 平素は、女性部活動に対し格別のご支援を賜りありがとうございます。
 三度目の皆様への新年のごあいさつと事業報告をいたします。新役員5名、旧役員5名でのスタートとなりました。

9月4日、木津川市商工会女性部視察研修として京北へ総勢29名で訪ねて下さいました。すし米にて昼食をとり、ウッドイー京北でスタンドグラス体験とショッピング。ボランティアガイドさんと常照皇寺見学。森のカフェ(ハンション上桂)にてグループに分かれ交流会。楽しく交流できました。

10月29日、「木こり技能大会」に出店。台風はそれたものの、一日中降りしきる雨の中、スタッフ、参加者、やり遂げたという強い想いが伝わってきました。森の「コーヒー」が予想以上に多く売れ良かったです。

11月3日「京北ふるさとまつり」に出店。汗ばむ位の陽気の中、まいだけご飯、いなり寿司、豚汁、みたらし団子等を販売しました。今回は、3B体操の発表もステージで行いました。3B体操は、女性部事業として月に2回の教室を十数年前からずっと継続しています。現在講師の方は京北に3名おられ、その内2名が女性部員にあります。

その他、新しく介護施設「しゅづん」でカットボランティアもさせて頂きました。きれいになって利用者さんも職員さんにも大変喜んでいただきました。

そんなこんなで29年が終わりました。本年も引き続き応援よろしくお願ひ致します。

京北商工会 女性部部长 渡邊多津子



木津川市商工会女性部視察研修会の昼食風景。京北の一日を満喫していただきました！

京北ふるさとまつりで3B体操を熱演!!



好天に恵まれ、昼過ぎには売り切れ続出! 嬉しい悲鳴で、てんてこ舞いでした!!



すっきりときれいになってみんなの顔に笑顔の花が咲きました!



肌寒い一日で、暖かいコーヒーが大人気! 足下も良くない中、多くのご来場ありがとうございました!

「里山デザイン」って 知ってますか？

ごあいさつ

はじめまして！ 一般社団法人 里山デザインと申します。
いつも「どちらで仕事をされているのですか？」と、よくお声をかけて頂くのですが、周山駅前のオフィス京北さま内に、事務所を構えさせて頂いております。6名のスタッフの内、5名が1ターン者です。

デザインができる者、写真が撮れる者、造形ができる者、編集ができる者、通訳・翻訳ができる者が、偶然この京北で出会い、お互いの特色を集める事で、この京北から新しい何かを創造・発信出来るのでは？と、起業しました。



「KEIHOKU Style展」ホテルグランヴィア京都



インバウンド事業



「KEIHOKU Style展」京都駅前広場



「里山デザイン」制作物

「里山デザイン」について

事務所の外へ一歩出れば、美しい水がすぐそばを流れ、綺麗な空や美味しい空気…都会に事務所を構えていれば味わう事のできない、自然豊かな環境があり、また車で1時間余りも走れば、新幹線にも乗れる利便性がある京北で仕事ができる事に、日々喜びを感じています。

里山デザインは、ソーシャルマーケティング事業、インバウンド観光事業の2つの事業を軸に、地域内連携をはかり都市や海外へ「京北」を繋ぐことで、地域全体が豊かになる三方良しの事業創出を目指しています。

業務実績について

京北の皆様には、温かなご縁を頂き、「KEIHOKU Style」事業や、木こり技能大会の企画をはじめ、府立北桑田高校様の学校案内パンフレット作成や、英会話の出張授業、周山中学校様へのお出張授業、すえひろ様、塩治軒様のホームページ制作などの事業を展開させて頂いております。

おわりに

京北の魅力は、自然の豊かさもありますが、共にお仕事をさせて頂く中で、京北の「人」に魅力を感じるこの頃です。まだまだ若輩者の私達ですが、どうぞ今後とも、ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。

現在、京北岡山町にて
絶賛改修中の

『わらしべの家』ってなに？

クラウドファンディング
プロジェクトオーナーの
松井さんに概要を書いて
いただきました。



わらしべの家プロジェクトって？

フリーペーパー「右京じかん」のわらしべ長者企画でのチョコレートから始めた物々交換が、京北の古民家までたどりつきました。

この企画で人と人とのつながりが大きな実感をもって感じられたようで…手に入れた空き家を「わらしべの家」と名付け、改修して京北を元気にする存在にしたい！ということで「わらしべの家プロジェクト」が始まりました。

『わらしべの家プロジェクト学生チーム』とは？

ある時、なんだかおもしろそうな古民家改修プロジェクトがあるらしい！？ という噂が京都の建築学生たちのもとに流れこみました。いわゆる古民家カフェで…まだまだ始まったばかりでしかも丸々一軒家を改修できて、内装とかもデザインしていいたい？ それは楽しそう！ と次々に学生が集まり学生チームができました。一度来たらもうだめ…わらしべっ子の誕生です。みんな言うんです、「楽しかった！ また行きたい！」って。

学生チームのメンバーはそれぞれいろんな思いを持ってプロジェクトに関わっています。木を加工することや古民家改修が好き。北山杉や京北の自然が好き。わらしべの家がこれからどうなるのか気になる。みんなでわいわい集まるのが楽しい。東さんが大好き。

それぞれが抱いた思いから、京北やわらしべの家をどんどん好きになっていきます。興味がありそうだなと思う人へは、すぐにわらしべの家プロジェクトのLINEグループにご招待！ もとは建築学生を中心として始まったチームですが、今では建築学科生だけでなくいろんな学科の学生が集まっています。



クラウドファンディングを始めた理由

物々交換で手に入れたのはいいものの、長い間空き家になっていたため結構ぼろぼろのわらしべの家。京都市の「空き家活用×まちづくりモデルプロジェクト」に応募して見事補助金を獲得できたのですが、まだわらしべの家のぼろぼろ具合には勝てず、改修費用が全然足りてないらしい…！？ と聞きつけた学生チームが資金調達の手段として提案したのが「クラウドファンディング」。インターネット上で不特定多数の人を対象に広く資金提供を呼びかけ、そのお礼に京北の特産品やわらしべの家の限定グッズをお返しするものです。

おかげさまでクラウドファンディングは成功し、目標としていた額以上の支援をしていただくことができました！ 本当にありがとうございます。サイト利用料が引かれたりお返しの品を用意したりと、実際に改修費に使える額はこれより減ってしまいますが、たくさんの方に京北やわらしべの家を知っていただけたとてもよい機会になったことが、一番の大成功なのではないかと思っています。

わらしべの家から京北の魅力をさらに発信していけるように頑張っていきます！



最後にひとこと

棟梁でもある東さんをはじめ、京北商工会青年部さんには、「京北ふるさとまつり」での出店や、今回の「わらしべの家」の特集ページを用意していただいたりと、本当に感謝しています。ありがとうございます。



わらしべ「わらしべ長者」は、ある男が、1本のわらしべから物々交換をくり返していくうちに、高価なものへ変わっていき、長者（お金持ち）になったという日本の昔話です。

事業所訪問



appia アピアさん



今回の事業所訪問は京北細野町でクラシックカーの販売・修理業を営んでおられる「appia アピア」さんをお尋ねしました。



162号線を京都市内から周山方面に北上し笠トンネルを出たら直ぐに右折、4kmほど道なりに進むと京都府射撃場手前のログハウスにアピアさんはあります。

クラシックカー専門店アピアを営むのは北村 仁さん。

幼い頃からとにかく機械を触るのが好きで、買ってもらったおもちゃは直ぐに分解し、中の構造はどうなっているのか？ と興味津々だったそうです。高校を卒業すると同時に、自動車整備業界に入られ以後24年間、自動車整備の仕事が続けられています。

平成12年には自動車整備士2級資格取得。平成13年には全日本自動車整備技能競技大会に京都府代表として出場され、全国総合優勝されています。



平成20年に前経営者の伯母様よりアピアを引き継がれ今に至るそうです。

アピアさんでは主に1950年～1970年代のヨーロッパ車を中心に販売・修理・レストアをされており、店内には個性豊かな珍しい車達が並んでいます。

使い捨てされる物が多い時代の中、「良いモノを修理しながら長く使い続けること」にこだわり、日々作業に取り組まれているそうです。

当初は京都市内より京北まで毎日通われていたそうですが、京北の自然豊かな環境に魅力を感じ今では京北に移り住まれたそうです。



都会には都会の良さがありますが、都会の人たちが忘れかけている大切な物が京北にはたくさんあります。朝日が昇ったら鳥の鳴き声で目覚めて仕事をし、日が暮れたら仕事を止めて家族との時間を楽しむ。そんな人間が本来すべき幸せな生活が京北では出来るとおっしゃっていました。

実際に、京北での暮らしを話すと憧れを持たれるお客様も多いそうで、これからも京北の魅力を訪れるお客様に伝えて行きたいとのことでした。

